

営の責任主体となり、国保運営の中心的な役割を担うことになりました。

これにより、国の示す基準保険税率の算定により、平成20年度から10年振りとなる大幅な保険税率の改定により、税額3.91%増の負担を被保険者の皆様にお願ひすることとなる一方、一般会計からの法定外繰入金に頼らざるを得ない大変厳しい運営であります。引き続き健全な運営に努めます。

●介護保険は、第7期介護保険事業計画がスタートする年であり、今後、団塊の世代が75歳以上になる2025年を目的に要介護等認定者の増加や介護サービス利用者の増加が懸念されており、こうした状況を踏まえ、第7期計画期間の保険料を算定いたしました。基金積立金の一部取り崩し前期と同額の保険料に据え置くこととなりましたので、引き続き、故郷小平で安心して生活を送れますよう健全な介護保険制度の維持・向上に努めます。

●特別養護老人ホーム「愛生園」は、高齢者人口と高齢独居世帯が増加する中、在宅支援と中重度の要介護者を支える地域の重要拠点として、その役割が大きくなっており地域の各関係機関と連携を図りながら、安全・安心なサービスの提供のために、地域に密着した施設となるよう努めます。

主な施策内容	予算額
不妊治療費等助成	500千円
乳幼児等医療費助成	5,940千円
各種予防接種委託料	10,112千円
妊婦一般健康診査助成事業	1,542千円
各種健診委託料	4,530千円



姉妹都市交流

●姉妹都市交流は、昭和53年7月1日、小平町開基100年の際、小平市と姉妹都市の締結以来、40周年を迎えることから、よりいつそうの絆を深める為、小平市民まつりに各産業団体等からなる親善訪問団による親善事業を実施します。



教育施策

●平成29年3月に、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、連携・協働によりその実現を図っていくことをこれからの教育課程の理念

とした「新学習指導要領」が告示され、今後10年間の方向性が明らかになり、大きな教育改革の時代を迎えようとしています。

そのような中で、これら学校教育活動の今日的諸課題解決のため、教育委員会とのさらなる連携を図ります。

また、社会教育の推進につきましては「第6次社会教育中期計画」に基づく社会教育施策の推進を継続します。

具体的な施策として、鬼鹿小学校周辺環境整備のほか農業・漁業などでの体験学習の拡充、地元食材を積極的に活用する食育教育、幼稚園教育での子育て支援対策、生涯学習セミナーとして開講する「おびらふるさと塾」での子育て支援対策を継続します。

主な施策内容	予算額
通学バス運行委託料	19,289千円
旧鬼鹿中学校屋内体育館解体工事	20,000千円
鬼鹿小学校外構工事	25,000千円
小平中学校校舎外壁等改修工事	14,000千円
食育関連事業	2,300千円
小中学校パソコンリース事業	5,797千円
サポーターズクラブ補助金	3,000千円
小平薬川河口トイレ改修工事	1,400千円
海洋センター武道館改修工事	2,100千円



おわりに

以上、平成30年度の執行方針に臨む主な施策を述べさせていただきましたが、私の当初からの基本姿勢であります「まちづくりの主役は町民であり、常に町民目線に立ち、自ら出向き、自ら見て聞く現場主義」を徹底し、誰もが安心して暮らし続けられるまちを皆様とともに創り上げたいと思っておりますので、議員並びに町民各位のなお一層のご理解とご協力をお願いし、町政執行方針とします。

